

通貨選択型アメリカン・ エクイティ・ α クワトロ (毎月分配型)

運用報告書(全体版)

第36期 (決算日 2018年7月17日)
第37期 (決算日 2018年8月17日)
第38期 (決算日 2018年9月18日)
第39期 (決算日 2018年10月17日)
第40期 (決算日 2018年11月19日)
第41期 (決算日 2018年12月17日)

(作成対象期間 2018年6月19日～2018年12月17日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式		
信託期間	約5年間（2015年6月26日～2020年6月17日）		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主 要 投 資 対 象	当ファンド	イ. ケイマン籍の外国投資信託 「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーダイワ・アメリカン・ハイ・ディビデンド・エクイティ・クワトロ・インカム・ファンド」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの受益証券	
	ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	円建ての債券	
組入制限	当ファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、当初設定から1年以内に分配を開始し、分配開始後は、原則として、毎決算時に分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国の高配当株式に投資するとともに、為替取引ならびに株式および通貨のカバードコール戦略を組み合わせることで、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<http://www.daiwa-am.co.jp/>

最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額				公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 率 受 益 証 比	純 資 産 額
	(分 配 落)	税 込 配 分	み 金 騰 落	中 率			
	円	円	%	%	%	百万円	
12期末（2016年7月19日）	8,088	180	10.0	0.0	98.8	172	
13期末（2016年8月17日）	7,840	180	△ 0.8	0.0	98.7	193	
14期末（2016年9月20日）	7,515	180	△ 1.8	0.0	96.5	237	
15期末（2016年10月17日）	7,608	180	3.6	0.0	84.2	584	
16期末（2016年11月17日）	7,537	180	1.4	0.0	92.6	942	
17期末（2016年12月19日）	8,059	180	9.3	0.0	89.5	1,903	
18期末（2017年1月17日）	8,065	180	2.3	0.0	91.1	2,790	
19期末（2017年2月17日）	8,260	180	4.6	0.0	94.9	3,917	
20期末（2017年3月17日）	8,068	180	△ 0.1	0.0	96.9	4,275	
21期末（2017年4月17日）	7,598	180	△ 3.6	0.0	97.6	3,878	
22期末（2017年5月17日）	7,763	180	4.5	0.0	97.8	3,949	
23期末（2017年6月19日）	7,237	180	△ 4.5	0.0	97.8	3,722	
24期末（2017年7月18日）	7,188	180	1.8	—	99.2	3,586	
25期末（2017年8月17日）	7,011	180	0.0	—	98.1	3,346	
26期末（2017年9月19日）	7,022	180	2.7	—	98.8	3,138	
27期末（2017年10月17日）	6,958	180	1.7	—	97.1	3,044	
28期末（2017年11月17日）	6,687	180	△ 1.3	—	98.1	2,866	
29期末（2017年12月18日）	6,640	180	2.0	—	95.9	2,827	
30期末（2018年1月17日）	6,652	120	2.0	—	96.0	2,801	
31期末（2018年2月19日）	6,212	120	△ 4.8	—	98.7	2,408	
32期末（2018年3月19日）	6,044	120	△ 0.8	—	98.7	2,296	
33期末（2018年4月17日）	5,804	120	△ 2.0	—	98.6	2,171	
34期末（2018年5月17日）	5,539	120	△ 2.5	—	98.7	2,056	
35期末（2018年6月18日）	5,400	120	△ 0.3	—	98.5	1,874	
36期末（2018年7月17日）	5,339	120	1.1	—	98.4	1,836	
37期末（2018年8月17日）	5,243	120	0.4	—	98.6	1,736	
38期末（2018年9月18日）	4,937	120	△ 3.5	—	97.9	1,600	
39期末（2018年10月17日）	5,115	80	5.2	—	97.1	1,669	
40期末（2018年11月19日）	5,081	80	0.9	—	99.2	1,604	
41期末（2018年12月17日）	4,752	80	△ 4.9	—	98.4	1,423	

（注1）基準価額の騰落率は分配金込み。

（注2）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

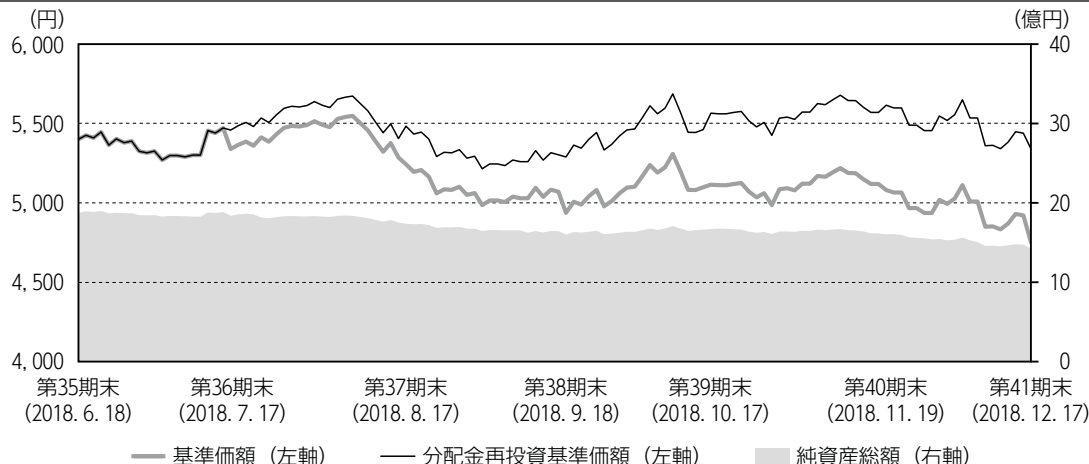
（注3）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

（注4）当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第36期首：5,400円

第41期末：4,752円（既払分配金600円）

騰落率：△1.1%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

主にクレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーダイワ・アメリカン・ハイ・ディビデンド・エクイティ・クワトロ・インカム・ファンド（以下「アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンド」といいます。）の下落がマイナス要因となり、基準価額は下落しました。アメリカン・エクイティ・クワトロ・

ファンドについては、米国の株式に投資し、米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行うとともに、株式ならびに通貨（円に対するブラジル・レアル）のカバードコール戦略を構築した結果、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）がプラスに寄与しましたが、株式が下落したことやブラジル・レアルが対円で下落したことがマイナス要因となりました。オプション取引については、株式のオプション、通貨のオプションともにプラスに寄与しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ（毎月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
			騰 落 率		
第36期	(期 首) 2018年 6 月18日	円 5,400	% —	% —	% 98.5
	6 月末	5,315	△ 1.6	—	98.6
	(期 末) 2018年 7 月17日	5,459	1.1	—	98.4
第37期	(期 首) 2018年 7 月17日	5,339	—	—	98.4
	7 月末	5,490	2.8	—	99.7
	(期 末) 2018年 8 月17日	5,363	0.4	—	98.6
第38期	(期 首) 2018年 8 月17日	5,243	—	—	98.6
	8 月末	4,986	△ 4.9	—	98.8
	(期 末) 2018年 9 月18日	5,057	△ 3.5	—	97.9
第39期	(期 首) 2018年 9 月18日	4,937	—	—	97.9
	9 月末	5,060	2.5	—	98.9
	(期 末) 2018年10月17日	5,195	5.2	—	97.1
第40期	(期 首) 2018年10月17日	5,115	—	—	97.1
	10月末	5,092	△ 0.4	—	98.7
	(期 末) 2018年11月19日	5,161	0.9	—	99.2
第41期	(期 首) 2018年11月19日	5,081	—	—	99.2
	11月末	4,994	△ 1.7	—	98.4
	(期 末) 2018年12月17日	4,832	△ 4.9	—	98.4

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2018. 6. 19 ~ 2018. 12. 17)

■米国株式市況

i シェアーズ好配当株式 E T F（配当再投資）は米ドルベースで下落しました。

当作成期首から2018年9月下旬にかけては、米国とトルコの対立を受けたトルコ・リラ相場の急落や米中貿易摩擦などを背景に、米国株式市況は軟調に推移する場面もありましたが、好調を維持する米国経済や米国企業の好決算に下支えされ、おおむね上昇基調で推移しました。10月は、米国長期金利が3.2%近くまで上昇する中、急速な金利上昇への警戒感が高まり、これまで市場をけん引してきたハイテック銘柄などを中心に株価は調整しました。11月に入ると、米国の中間選挙が大方の予想通りの結果で通過したことや、12月の米中首脳会談を控えて両国間の通商交渉が進展するとの期待が高まったことなどを受けて、株価の下落は一服しました。当作成期末にかけては、景気後退や米中関係の悪化に対する懸念が高まったことなどから株価の下落が世界的に連鎖する展開となり、再び下落しました。

■為替相場

ブラジル・レアルは対円で下落しました。

当作成期首から2018年7月下旬にかけてのブラジル・レアルは方向感のない動きとなりましたが、8月上旬に入ると、トルコ・リラの急落を受けて新興国通貨に対してリスク回避姿勢が高まり、レアルは下落しました。9月下旬に入ると、ブラジル大統領選挙をめぐるボルソナロ氏が第一回投票から躍進したことが市場で好感されたことなどから、レアルは上昇しました。当作成期末にかけては、米中貿易摩擦悪化懸念に伴うリスク回避の動きなどを背景に、円高レアル安の推移となりました。

■短期金利市況

F R B（米国連邦準備制度理事会）は政策金利の誘導目標レンジを1.75~2.00%から2.00~2.25%に引き上げました。一方、ブラジル中央銀行は政策金利を6.50%で据え置きました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドとダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資します。また、アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドへの投資割合を

高位に維持することを基本とします。

■アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンド

ダウ・ジョーンズ米国セレクト配当指数（Dow Jones U.S. Select Dividend Index）を対象としたETFを活用し、米国の高配当株式への投資を行います。米ドル建ての資産に対して、原則として、米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行います。対象とする指数またはETFにかかるコール・オプション（買う権利）の売りを行い、株式カバードコール戦略を構築します。オプションのカバー率はファンドの純資産総額の50%程度とします。円に対するブラジル・レアルのコール・オプションの売りを行い、通貨カバードコール戦略を構築します。オプションのカバー率はファンドの純資産総額のおおむね50%程度とします。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行います。

ポートフォリオについて

（2018. 6. 19 ～ 2018. 12. 17）

■当ファンド

アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドとダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資しました。アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドへの投資割合を高位に維持しました。

■アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンド

ダウ・ジョーンズ米国セレクト配当指数を対象としたETFを活用し、米国の高配当株式に投資を行いました。米ドル建ての資産に対して米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行いました。投資対象とするETFにかかるコール・オプションの売りを行い、株式カバードコール戦略を構築しました。オプションのカバー率はファンドの純資産総額のおおむね50%程度としました。円に対するブラジル・レアルのコール・オプションの売りを行い、通貨カバードコール戦略を構築しました。オプションのカバー率はファンドの純資産総額のおおむね50%程度としました。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期	第41期
	2018年6月19日 ～2018年7月17日	2018年7月18日 ～2018年8月17日	2018年8月18日 ～2018年9月18日	2018年9月19日 ～2018年10月17日	2018年10月18日 ～2018年11月19日	2018年11月20日 ～2018年12月17日
当期分配金(税込み) (円)	120	120	120	80	80	80
対基準価額比率 (%)	2.20	2.24	2.37	1.54	1.55	1.66
当期の収益 (円)	75	94	76	78	80	80
当期の収益以外 (円)	44	25	43	1	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	4,510	4,485	4,442	4,443	4,458	4,461

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期	第41期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 75.45円	✓ 94.35円	✓ 76.81円	✓ 78.98円	✓ 94.95円	✓ 82.39円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	4,280.94	4,283.94	4,287.52	4,294.72	4,295.96	4,297.73
(d) 分配準備積立金	✓ 274.06	✓ 226.78	✓ 198.09	✓ 149.65	147.49	160.96
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	4,630.47	4,605.08	4,562.43	4,523.36	4,538.41	4,541.09
(f) 分配金	120.00	120.00	120.00	80.00	80.00	80.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	4,510.47	4,485.08	4,442.43	4,443.36	4,458.41	4,461.09

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドとダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資します。また、アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

■アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンド

ダウ・ジョーンズ米国セレクト配当指数を対象としたETFを活用し、米国の高配当株式への投資を行います。米ドル建ての資産に対して、原則として、米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行います。対象とする指数またはETFにかかるコール・オプションの売りを行い、株式カバードコール戦略を構築します。オプションのカバー率はファンドの純資産総額の50％程度とします。円に対するブラジル・レアルのコール・オプションの売りを行い、通貨カバードコール戦略を構築します。オプションのカバー率はファンドの純資産総額のおおむね50％程度とします。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第36期～第41期 (2018. 6. 19～2018. 12. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	31円	0.604%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は5,173円です。
（投 信 会 社）	(11)	(0.215)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(19)	(0.376)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 銀 行）	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	4	0.083	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託受益証券）	(4)	(0.083)	
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	36	0.691	

（注1）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

（注2）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

（注3）各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

（注4）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ（毎月分配型）

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2018年6月19日から2018年12月17日まで)

決 算 期	第 36 期 ～ 第 41 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	7,446.25601	201,309	17,430.84256	468,590

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2018年6月19日から2018年12月17日まで)

第 36 期 ～ 第 41 期							
買 付				売 付			
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
DAIWA AMERICAN HIGH DIVIDEND EQUITY QUATTRO INCOME FUND（ケイマン諸島）	992.86607	27,000	27	DAIWA AMERICAN HIGH DIVIDEND EQUITY QUATTRO INCOME FUND（ケイマン諸島）	17,430.84256	468,590	26

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■投信会社（自社）による当ファンドの設定・解約および保有状況

第 36 期 首 保 有 額	当作成期間中 設 定 額	当作成期間中 解 約 額	第 41 期 末 保 有 額	取 引 の 理 由
百万円 100	百万円 —	百万円 100	百万円 —	当初設定時における取得とその処分

(注1) 金額は元本ベース。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 41 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） DAIWA AMERICAN HIGH DIVIDEND EQUITY QUATTRO INCOME FUND	55,621.68938	1,401,332	98.4

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 35 期 末	第 41 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	159	159	159

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年12月17日現在

項 目	第 41 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	1, 401, 332	96. 2
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	159	0. 0
コール・ローン等、その他	55, 916	3. 8
投資信託財産総額	1, 457, 409	100. 0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2018年7月17日)、(2018年8月17日)、(2018年9月18日)、(2018年10月17日)、(2018年11月19日)、(2018年12月17日) 現在

項 目	第36期末	第37期末	第38期末	第39期末	第40期末	第41期末
(A) 資産	1, 883, 826, 738円	1, 780, 717, 189円	1, 641, 980, 463円	1, 699, 155, 524円	1, 647, 514, 860円	1, 457, 409, 041円
コール・ローン等	76, 596, 978	68, 582, 413	75, 358, 300	77, 434, 182	56, 167, 546	55, 916, 470
投資信託受益証券（評価額）	1, 807, 069, 967	1, 711, 974, 999	1, 566, 462, 402	1, 621, 561, 597	1, 591, 187, 569	1, 401, 332, 842
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド（評価額）	159, 793	159, 777	159, 761	159, 745	159, 745	159, 729
(B) 負債	47, 231, 949	44, 668, 709	41, 813, 365	29, 762, 214	43, 330, 954	33, 949, 680
未払収益分配金	41, 282, 234	39, 731, 254	38, 897, 537	26, 109, 387	25, 257, 777	23, 963, 346
未払解約金	4, 141, 364	3, 031, 193	1, 097, 388	2, 017, 511	16, 203, 734	8, 497, 606
未払信託報酬	1, 794, 865	1, 881, 612	1, 781, 712	1, 588, 134	1, 809, 807	1, 419, 492
その他未払費用	13, 486	24, 650	36, 728	47, 182	59, 636	69, 236
(C) 純資産総額（A－B）	1, 836, 594, 789	1, 736, 048, 480	1, 600, 167, 098	1, 669, 393, 310	1, 604, 183, 906	1, 423, 459, 361
元本	3, 440, 186, 198	3, 310, 937, 907	3, 241, 461, 418	3, 263, 673, 425	3, 157, 222, 208	2, 995, 418, 284
次期繰越損益金	△ 1, 603, 591, 409	△ 1, 574, 889, 427	△ 1, 641, 294, 320	△ 1, 594, 280, 115	△ 1, 553, 038, 302	△ 1, 571, 958, 923
(D) 受益権総口数	3, 440, 186, 198□	3, 310, 937, 907□	3, 241, 461, 418□	3, 263, 673, 425□	3, 157, 222, 208□	2, 995, 418, 284□
1万口当り基準価額（C／D）	5, 339円	5, 243円	4, 937円	5, 115円	5, 081円	4, 752円

* 第35期末における元本額は3, 470, 638, 233円、当作成期間（第36期～第41期）中における追加設定元本額は286, 900, 021円、同解約元本額は762, 119, 970円です。

* 第41期末の計算口数当りの純資産額は4, 752円です。

* 第41期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1, 571, 958, 923円です。

通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ（毎月分配型）

■損益の状況

第36期	自2018年 6 月19日	至2018年 7 月17日	第38期	自2018年 8 月18日	至2018年 9 月18日	第40期	自2018年10月18日	至2018年11月19日
第37期	自2018年 7 月18日	至2018年 8 月17日	第39期	自2018年 9 月19日	至2018年10月17日	第41期	自2018年11月20日	至2018年12月17日
項 目	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期	第41期		
(A) 配当等収益	27,769,289円	33,137,843円	26,692,633円	26,277,630円	31,801,370円	26,110,689円		
受取配当金	27,769,612	33,138,757	26,695,130	26,279,709	31,803,093	26,111,678		
受取利息	9	—	25	14	15	66		
支払利息	△ 332	△ 914	△ 2,522	△ 2,093	△ 1,738	△ 1,055		
(B) 有価証券売買損益	△ 5,840,190	△ 23,307,933	△ 84,904,541	△ 57,662,438	△ 15,466,447	△ 98,996,721		
売買益	520,838	721,247	3,030,683	58,558,163	355,130	2,560,698		
売買損	△ 6,361,028	△ 24,029,180	△ 87,935,224	△ 895,725	△ 15,821,577	△ 101,557,419		
(C) 信託報酬等	△ 1,809,811	△ 1,896,055	△ 1,794,166	△ 1,599,233	△ 1,822,709	△ 1,430,195		
(D) 当期繰越益金 (A + B + C)	20,119,288	7,933,855	△ 60,006,074	△ 82,340,835	△ 14,512,214	△ 74,316,227		
(E) 前期繰越損益金	△ 773,642,705	△ 755,819,415	△ 759,397,605	△ 834,892,835	△ 747,459,585	△ 712,778,579		
(F) 追加信託差損益金	△ 808,785,758	△ 787,272,613	△ 782,993,104	△ 815,618,728	△ 794,833,154	△ 760,900,771		
(配当等相当額)	(1,472,725,566)	(1,418,387,279)	(1,389,785,969)	(1,401,657,850)	(1,356,331,510)	(1,287,352,806)		
(売買損益相当額)	(△ 2,281,511,324)	(△ 2,205,659,892)	(△ 2,172,779,073)	(△ 2,217,276,578)	(△ 2,151,164,664)	(△ 2,048,253,577)		
(G) 合計 (D + E + F)	△ 1,562,309,175	△ 1,535,158,173	△ 1,602,396,783	△ 1,568,170,728	△ 1,527,780,525	△ 1,547,995,577		
(H) 収益分配金	△ 41,282,234	△ 39,731,254	△ 38,897,537	△ 26,109,387	△ 25,257,777	△ 23,963,346		
次期繰越損益金 (G + H)	△ 1,603,591,409	△ 1,574,889,427	△ 1,641,294,320	△ 1,594,280,115	△ 1,553,038,302	△ 1,571,958,923		
追加信託差損益金	△ 808,785,758	△ 787,272,613	△ 782,993,104	△ 815,618,728	△ 794,833,154	△ 760,900,771		
(配当等相当額)	(1,472,725,566)	(1,418,387,279)	(1,389,785,969)	(1,401,657,850)	(1,356,331,510)	(1,287,352,806)		
(売買損益相当額)	(△ 2,281,511,324)	(△ 2,205,659,892)	(△ 2,172,779,073)	(△ 2,217,276,578)	(△ 2,151,164,664)	(△ 2,048,253,577)		
分配準備積立金	78,960,345	66,597,770	50,212,589	48,510,658	51,287,666	48,931,996		
繰越損益金	△ 873,765,996	△ 854,214,584	△ 908,513,805	△ 827,172,045	△ 809,492,814	△ 859,990,148		

(注 1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注 3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期	第41期
(a) 経費控除後の配当等収益	25,959,478円	31,241,784円	24,898,460円	25,776,902円	29,978,657円	24,680,491円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	1,472,725,566	1,418,387,279	1,389,785,969	1,401,657,850	1,356,331,510	1,287,352,806
(d) 分配準備積立金	94,283,101	75,087,240	64,211,666	48,843,143	46,566,786	48,214,851
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	1,592,968,145	1,524,716,303	1,478,896,095	1,476,277,895	1,432,876,953	1,360,248,148
(f) 分配金	41,282,234	39,731,254	38,897,537	26,109,387	25,257,777	23,963,346
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	1,551,685,911	1,484,985,049	1,439,998,558	1,450,168,508	1,407,619,176	1,336,284,802
(h) 受益権総口数	3,440,186,198口	3,310,937,907口	3,241,461,418口	3,263,673,425口	3,157,222,208口	2,995,418,284口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万 口 当 り 分 配 金	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期	第41期
	120円	120円	120円	80円	80円	80円

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ（毎月分配型）

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－
ダイワ・アメリカン・ハイ・ディビデンド・エクイティ・クワトロ・インカム・ファンド

当ファンド（通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ（毎月分配型））の主要投資対象である、ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・アメリカン・ハイ・ディビデンド・エクイティ・クワトロ・インカム・ファンド」の受益証券（円建）の状況は次の通りです。

（注）2018年12月17日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（円建て）

財政状態計算書
2017年9月30日

資産

金融資産（損益通算後の評価額）	¥	3,064,901,278
資産合計		<u>3,064,901,278</u>

負債

負債合計		<u>—</u>
------	--	----------

資本（償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産）

受益証券元本		3,914,014,719
繰越損失		<u>(849,113,441)</u>
資本合計		<u>3,064,901,278</u>
資本・負債合計	¥	<u><u>3,064,901,278</u></u>

包括利益計算書

2017年9月30日に終了した年度

収益

手数料収入	1,130,639,637
金融資産および負債に係る純実現利益（損益通算後の評価額）	236,973,987
金融資産および負債に係る評価損の純変動（損益通算後の評価額）	(984,590,735)
収益合計	383,022,889

費用

報酬支払代行人手数料	10,077,559
費用合計	10,077,559

営業利益

372,945,330

包括利益合計（運用による償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産の増加）

¥ 372,945,330

2017年9月30日現在の担保付スワップの残高

ストラテジー	U. S. 高配当株式クワトロ戦略
満期日	2021年12月30日
カウンターパーティ	クレディ・スイス・インターナショナル
簿価	4,145,591,815 円
評価額	3,064,901,278 円
評価損	(1,080,690,537) 円

（注）担保付スワップへの投資を通じて、米国の高配当株式へ投資するとともに、為替取引ならびに株式および通貨のカバードコール戦略を組み合わせています。

＜補足情報＞

当ファンド（通貨選択型アメリカン・エクイティ・ α クワトロ（毎月分配型））が投資対象としている「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の決算日（2018年12月10日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第41期の決算日（2018年12月17日）現在におけるダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの組入資産の内容等を15ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

(2018年6月19日から2018年12月17日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
757 国庫短期証券 2018/8/13	290,001		
731 国庫短期証券 2018/7/10	210,000		

（注1）金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

（注2）単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

2018年12月17日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

運用報告書 第10期（決算日 2018年12月10日）

（作成対象期間 2017年12月12日～2018年12月10日）

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主 要 投 資 対 象	円建ての債券
株 式 組 入 制 限	純資産総額の10%以下

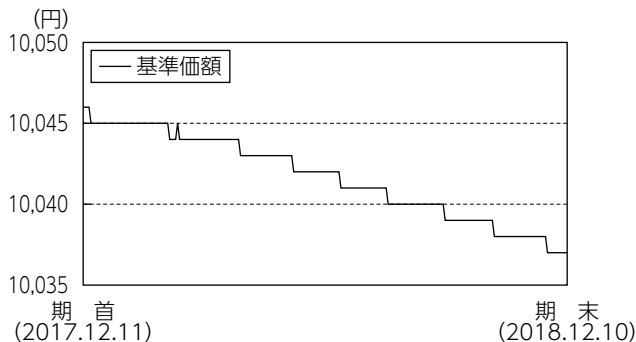
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
(期首)2017年12月11日	円	%	%
12月末	10,045	△0.0	—
2018年 1 月末	10,045	△0.0	—
2 月末	10,044	△0.0	0.5
3 月末	10,044	△0.0	—
4 月末	10,043	△0.0	—
5 月末	10,042	△0.0	—
6 月末	10,041	△0.0	—
7 月末	10,040	△0.1	—
8 月末	10,040	△0.1	—
9 月末	10,039	△0.1	—
10月末	10,038	△0.1	—
11月末	10,037	△0.1	—
(期末)2018年12月10日	10,037	△0.1	—

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なっており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,046円 期末：10,037円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

マイナス金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

当作成期首より、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持し、2018年7月には金融緩和継続のための枠組み強化を決定しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行います。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性及資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	3 (3)
合 計	3

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

		買 付 額	売 付 額
国 内	国債証券	千円 900,005	千円 — (900,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

当		期	
買	付	売	付
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
723 国庫短期証券 2018/3/5	400,003		
757 国庫短期証券 2018/8/13	290,001		
731 国庫短期証券 2018/7/10	210,000		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2018年12月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	69,363,521	100.0
投資信託財産総額	69,363,521	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年12月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	69,363,521,826円
コール・ローン等	69,363,521,826
(B) 負債	4,205,708
その他未払費用	4,205,708
(C) 純資産総額(A－B)	69,359,316,118
元本	69,103,393,644
次期繰越損益金	255,922,474
(D) 受益権総口数	69,103,393,644口
1万口当り基準価額(C／D)	10,037円

* 期首における元本額は126,824,072,530円、当作成期間中における追加設定元本額は34,268,505,333円、同解約元本額は91,989,184,219円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米ドル・ブルファンド（適格機関投資家専用）688,792,367円、ダイワ米ドル・ベアファンド（適格機関投資家専用）13,951,738,463円、ダイワ・マネーポートフォリオ（FOFs用）（適格機関投資家専用）1,089,639円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015－07（為替ヘッジあり）1,247,428,788円、通貨選択型 米国リート・αクワトロ（毎月分配型）159,141円、通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ（毎月分配型）159,141円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015－10（為替ヘッジあり）267,324,664円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015－10（為替ヘッジあり）Ⅱ74,557,679円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015－12（為替ヘッジあり）207,961,746円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016－02（為替ヘッジあり／限定追加型）158,901,180円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016－08（為替ヘッジあり／限定追加型）1,350,789,013円、オール・マーケット・インカム戦略（資産成長重視コース）9,963円、オール・マーケット・インカム戦略（奇数月定額分配コース）9,963円、オール・マーケット・インカム戦略（奇数月定率分配コース）9,963円、オール・マーケット・インカム戦略（予想分配金提示型コース）9,963円、ダイワJPX日経400ベア・ファンド（適格機関投資家専用）3,783,296,400円、AHLターゲットリスク・ライト戦略ファンド（適格機関投資家専用）1,692,026,279円、ダイワユーロベア・ファンド（2倍、非リバランス型）（適格機関投資家専用）852,128,164円、ダイワ米ドルベア・ファンド（2倍、非リバランス型）（適格機関投資家専用）33,557,519,292円、ダイワ／ロジャーズ国際コモディティTM・ファンド5,408,343円、ダイワ／フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド（通貨選択型）日本円・コース（毎月分配型）998円、ダイワ／フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド（通貨選択型）ブラジル・リアル・コース（毎月分配型）998円、ダイワ／フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド（通貨選択型）アジア通貨・コース（毎月分配型）998円、ダイワTOPIXベア・ファンド（適格機関投資家専用）11,262,889,374円、ダイワ豪ドル建て高利回り証券α（毎月分配型）9,949円、ダイワ米国国債7－10年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ－USTライアングル－997,374円、ダイワ豪ドル建て高利回り証券ファンド－予想分配金提示型－173,802円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,037円です。

■損益の状況

当期 自2017年12月12日 至2018年12月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 40,939,945円
受取利息	308,822
支払利息	△ 41,248,767
(B) 有価証券売買損益	△ 2
売買損	△ 2
(C) その他費用	△ 26,534,819
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	△ 67,474,766
(E) 前期繰越損益金	577,677,502
(F) 解約差損益金	△399,394,006
(G) 追加信託差損益金	145,113,744
(H) 合計(D＋E＋F＋G)	255,922,474
次期繰越損益金(H)	255,922,474

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。